

一般撮影検査

一般撮影室では X 線装置を用いて胸部, 腹部, 四肢など様々な部位の X 線写真を撮影します。この X 線検査ではファスナーやホックなどの金属, 衣服のボタン, 肩紐の長さを調節するプラスチック製の部品も X 線写真に写り、正確な診断を妨げる場合がありますので外していただきます。また、最近の装置は衣服の皺（しわ）が鮮明に写るため、肌着や検査着 1 枚の状態でも撮影させていただいております。ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。



胸部撮影ポジショニング

検査部位に適した服装に着替えていただいた後撮影を行います。撮影する際には合図に合わせて息止めをしていただきます。



腹部撮影ポジショニング

寝台に寝ていただき、撮影範囲を決定します。胸部撮影と同様に息止めがあります。



四肢撮影ポジショニングの一例

四肢の撮影は角度を変えて数枚撮影し、痛みの原因を調べます。こちらの検査は膝関節側面の撮影です。



ポータブル装置

病室での撮影や寝た状態で撮影することが望ましい方には可搬形 X 線装置を使用します。写真は始業点検の様子です。一般撮影も同様ですが、安全に検査ができるよう点検を欠かすことなく行っています。